



福岡管区気象台

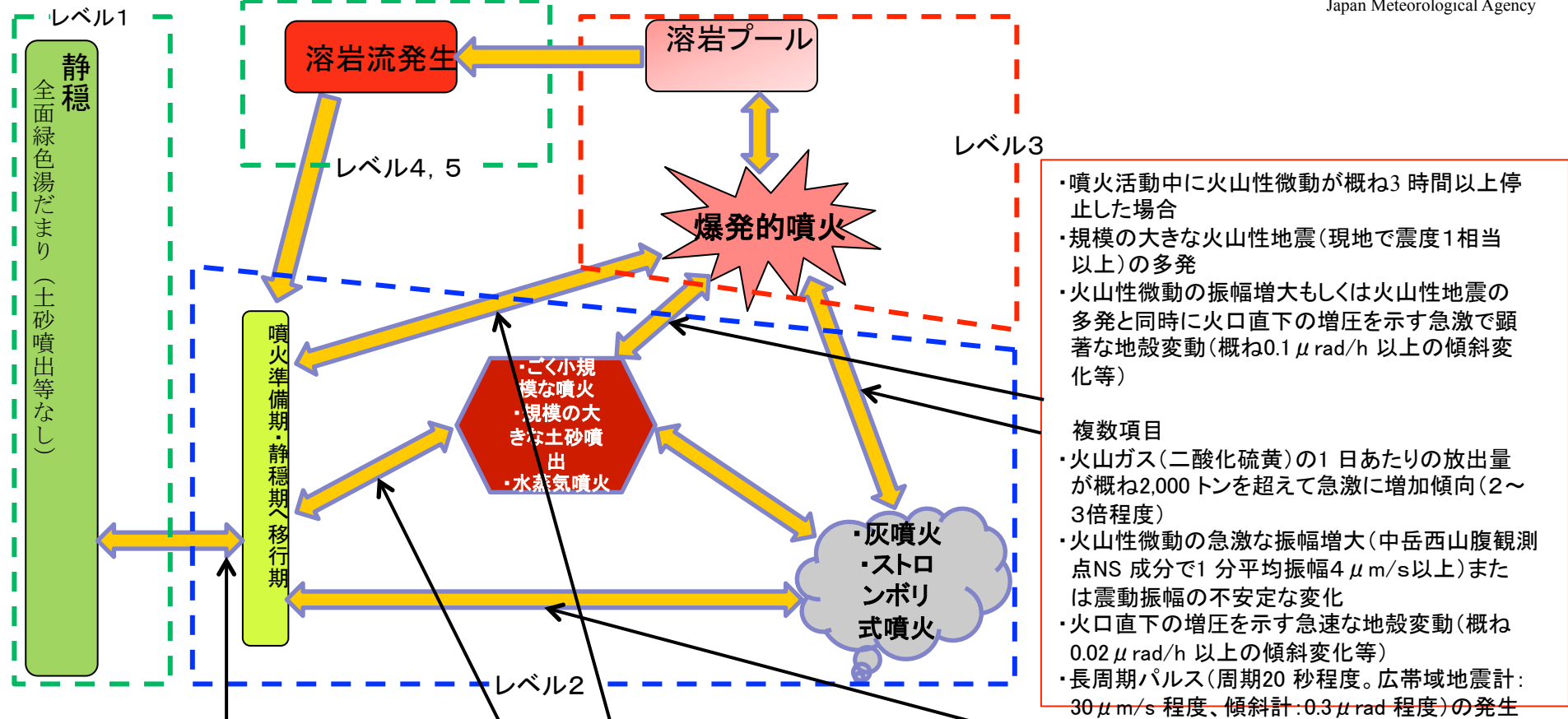
Fukuoka Regional Headquarters
Japan Meteorological Agency

ここ数年間の阿蘇山の活動と噴 火警戒レベルについて

福岡管区気象台

地震火山課

松末 伸一



- ・噴火活動中に火山性微動が概ね3時間以上停止した場合
- ・規模の大きな火山性地震(現地で震度1相当以上)の多発
- ・火山性微動の振幅増大もしくは火山性地震の多発と同時に火口直下の増圧を示す急激で顕著な地殻変動(概ね $0.1 \mu \text{rad/h}$ 以上の傾斜変化等)

複数項目

- ・火山ガス(二酸化硫黄)の1日あたりの放出量が概ね2,000トンを超えて急激に増加傾向(2~3倍程度)
- ・火山性微動の急激な振幅増大(中岳西山腹観測点NS成分で1分平均振幅 $4 \mu \text{m/s}$ 以上)または震動振幅の不安定な変化
- ・火口直下の増圧を示す急速な地殻変動(概ね $0.02 \mu \text{rad/h}$ 以上の傾斜変化等)
- ・長周期パルス(周期20秒程度。広帯域地震計: $30 \mu \text{m/s}$ 程度、傾斜計: $0.3 \mu \text{rad}$ 程度)の発生

- ・火口底の赤熱現象の急激な進行
- ・規模の大きな火山性地震(現地で震度1相当以上)の多発
- ・火山性微動の振幅増大もしくは火山性地震の多発と同時に火口直下の増圧を示す急激で顕著な地殻変動(概ね $0.1 \mu \text{rad/h}$ 以上の傾斜変化等)

複数項目

- ・火山ガス(二酸化硫黄)の1日あたりの放出量が概ね2,000トンを超えて急激に増加傾向(2~3倍程度)
- ・火山性微動の急激な振幅増大(中岳西山腹観測点NS成分で1分平均振幅 $4 \mu \text{m/s}$ 以上)または震動振幅の不安定な変化
- ・火口直下の増圧を示す急速な地殻変動(概ね $0.02 \mu \text{rad/h}$ 以上の傾斜変化等)
- ・長周期パルス(周期20秒程度。広帯域地震計: $30 \mu \text{m/s}$ 程度、傾斜計: $0.3 \mu \text{rad}$ 程度)の発生

岳西山腹観測点NS成分で1時間以上継続)

日あたりの放出量が概ね

または消失(量=3割以下いままゆっくり減少、また

以上)